

報道資料

令和3年6月1日（火）
食と農の振興部 畜産課
朝倉、高田
ダイヤル 0742-27-7448
内線 3881

野生いのししに対する豚熱（CSF） 経口ワクチン散布を開始します

平成30年9月岐阜県において国内では26年ぶりに豚熱（CSF）が発生し、5月31日現在、13県68例が確認されています。今年3月、奈良県の養豚場においても59年ぶりに豚熱が発生しました。

豚熱の主な感染源の一つとされる野生いのししの豚熱感染地域は拡大し、近畿2府4県を含む24都府県で感染が確認されています。

野生いのししに豚熱経口ワクチンを摂取させることで、野生いのししの豚熱の感染拡大を防止し、養豚場での感染リスクの軽減を図ることを目的に、令和2年度は3市村（奈良市、宇陀市、山添村）で実施していた経口ワクチン散布を、今年度は6市町村（奈良市、宇陀市、山添村、天理市、五條市、大淀町）に散布エリアを拡大し、散布します。

養豚場所在地を中心に、前期は6月3日から順次、経口ワクチンの散布を進めていきます。

記

【R3年度前期 ワクチン散布計画地域】

- ・奈良市 60箇所
- ・宇陀市 20～25箇所
- ・天理市 20～25箇所
- ・五條市 50箇所
- ・大淀町 20～25箇所

（山添村は後期11月～に散布予定）

【実施内容】

- ・1k㎡あたり散布箇所を1箇所設定し、ワクチンを散布
- ・1散布箇所（約200㎡）当たり10カ所に経口ワクチンを2個ずつ埋設
- ・経口ワクチンを回収し、いのししによる摂取状況を確認
- ・いのししを捕獲し、抗体検査を実施して、免疫の獲得状況を確認

【実施主体】

- ・ 奈良県CSF感染拡大防止対策協議会（令和2年4月設立）

【構成員】

- ・ 奈良県（事務局） ・ 奈良市 ・ 宇陀市 ・ 山添村 ・ 天理市 ・ 五條市 ・ 大淀町
- ・ 一般社団法人 奈良県猟友会
- ・ 一般社団法人 奈良県畜産会
- ・ 奈良県畜産農業協同組合 養豚事業部

【今後の予定】

- ・ 令和3年度後期（令和3年11月～令和4年3月）にも経口ワクチン散布を実施

【報道機関へのお願い】

- ・ 豚熱ウイルスが靴底等に付着することにより外部に持ち出され、拡散するおそれがあることから、現地での取材は自粛いただきますよう、お願いします。
- ・ ワクチン散布時等の写真が必要な場合は、申し出ていただければ提供いたします。
- ・ 天候等によって、散布開始日を変更する場合があります。